

2019年度 第2回 連続基礎講座

小学校の「情緒障害等通級指導学級」が「特別支援教室」となり、巡回指導が行われています。中学校でも始める地域が増えてきました。現場ではさまざまな努力がなされていますが、教育条件の整備がままならず、巡回指導教員からは多くの苦悩や不安の声が聞こえてきています。

今回の学習会では、発達障害のある子どもたちの育ちを支えるために、子どもをどう理解し、特別支援教室の実践をどうつくるのか、巡回指導教員の報告をもとに、具体的に学びます。子ども一人ひとりの願いと思いを大事にし、「自己」への肯定的な感情を育むことを目指した実践づくりについて語っていただきます。

特別支援教室の教員はもちろんのこと、通常学級や特別支援学級のみなさんも、是非ご参加ください。どなたでも参加できます。

「発達障害のある子どもの『自己の育ち』を支える ～特別支援教室の実践から～」

日時：7月13日(土) 14:30～17:00

場所：エデュカス東京 4階

資料代：800円（組合員 300円）

講師：小池雄逸さん

（特別支援教室の実践についてお話しします）

次回(第3回)の基礎講座

8月24日(土)午前9時45分～午後5時

エデュカス東京5階A・地下会議室

午前 全体会「卒業生から学校の在り方を問う(仮)」講師：永田 三枝子さん
(NPO法人 障がい児・者の学びを保障する会理事)

午後 分科会「明日からの授業にヒントがいっぱい こだわりの授業づくり講座」

